

新規就農者を支援

要約

新規就農者に対し、安定した経営を目指して栽培や経営に関する助言指導を行った。また、青年就農給付金制度について経営開始計画の作成および栽培の支援を行うとともに、新規就農者セミナーを開催し情報交換を行った。

現状(背景)と課題

- 支援対象新規就農者数
34名(H26年度末)
- 新規就農者の育成や経営の安定化に向けて支援が必要



目標

- 新規就農計画認定者数
5名(H27)

活動内容

- 関係市町村との連携の下、青年就農給付金申請者に対する経営開始計画の作成支援。
- 新規就農者の経営安定化のため、就農されてから概ね5年目までの農業者に対する重点的な巡回指導。
- 新規就農者相互の情報交換を活発化することを目的とした新規就農者セミナーの開催。

成果

- 新規就農者数5名(H27新規：五條市4名、大淀町1名)
- 新規就農者の交流による、問題の共有と解決
- 現地視察による栽培技術に関する情報交換



新規就農者セミナー交流会の様子



新規就農者圃場(1丁)視察

普及活動のポイント

- 青年就農給付金申請者について、市町村と連携し経営開始計画の策定指導
- 新規就農者に対して市町村とともに計画の進捗状況について聞き取り確認
- 農業研究開発センターと連携した栽培指導と情報提供

対象の変化

- 独立して営農を行うことへの意識の変化。
- 就農後5年間の経営計画が明確化。
- 栽培技術等の情報交換による問題の共有と解決。

対象者からのコメント

- 青年就農給付金制度をきっかけに、5年後を目標とした経営計画を立てることができた。
- 新規就農者セミナー現地視察でイチゴ高設栽培など情報交換ができてよかった。
- 交流会では他の人の工夫（直売など）を知ることができた。

これからの活動ビジョン

- 新規就農者へのフォローアップを継続と、経営安定化に向けた支援。
- 新規就農者セミナーの充実。

活動体制

